



熊谷市立富士見中学校
校長 田沼 良宣

一 本校の沿革

本校の歴史は、昭和二十二年に熊谷東小の特別教室をお借りして生徒数五百六名、九学級で開校式を挙式したところから始まりました。その後、昭和二十五年に現在の中央公園に校舎が新築され移転した際には、生徒数千六十四名、二十二学級でありました。そして、昭和五十七年十月に現在の校舎が完成し、翌年一月に移転しました。

令和六年度の生徒数は六九八名、学級数は二十四学級です。開校以来受け継がれてきた「師弟同行」「文武両道」の精神を大切にし、生徒一人一人の個性や能力を伸ばす教育を推進することで、本校の学校教育目標『知・徳・体』のバランスのとれた日本一の富士見中生の実現を図っています。

二 校章・校歌制定に係るエピソード

1 校章

- ① 制定年 昭和二十二年
- ② デザインの意図

富士見の見を三として、富士山を三つ。富士の間の三角は松。富士の白雪に緑の松は心の美しさを。中央の二重の円はクとマで熊谷を、中は中学校を表す。

※創立五十周年記念で校舎に校章を設置

※創立六十周年記念で正門に松を植樹

2 校歌

- ① 制定年 昭和二十七年
- ② 歌詞に込めた思い

※作詞者・伊藤敏雄さんに平成二十二年、生徒会本部役員がお話を伺った記録（抜粋）

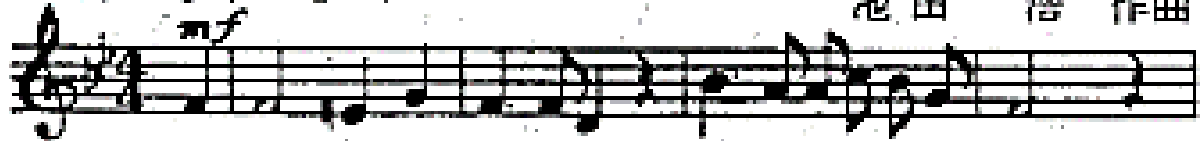
当時は、空襲で焼け野原になったところからの復興中でした。富士見中の生徒が卒業した後も、人生を前向きに「明るく強く」進んでほしいという思いを込めました。

熊谷市立富士見中学校校歌

伊藤敏雄 作詞
神保光太郎 校閲
池田浩 作曲

♩ = 96

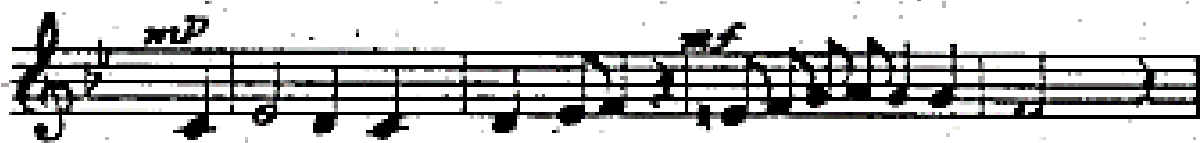
あかるくゆたかに



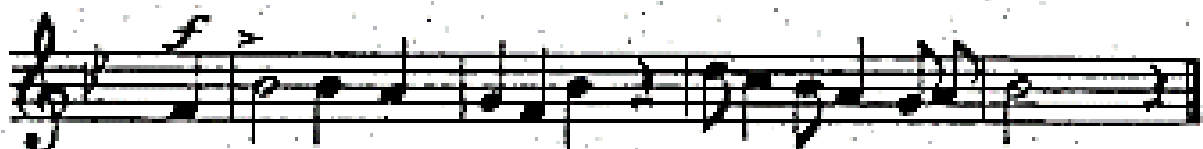
はなさきつどく わがまなびやの



ふじみゆまどに みどりのはえて



たかさか おりは むさしのにみち



あかるく つよく われらほほげむ

一、花咲き集う 我が学舎の

富士見ゆ窓に 緑の映えて

高き香りは 武蔵野にみち

明るく 強く 我等は励む

二、四季美わしき 我が学舎に

心正しく 体も強く

未来の光 鍛えん力

明るく 強く 我等は学ぶ

三、今黎明の 我が学舎よ

清く やさしい 慈愛を享けて

永久の契りは 師と友と我

明るく 強く 我等は進む